飛躍を支える人と地域を創る

教育庁 義務教育課 [3689]

令和 4 年度:64,829千円

(28, 138千円)

きのくに学力向上総合戦略

現状·課題

◆全国学力・学習状況調査において、小学校は全国平均と同程度であるが、中学校の結果が全国下位に低迷

<継続する取組>

- ①若手教員の授業力向上(『マスター問題集』の活用等)
- ②戦略的な学校経営力向上(学校マネジメント力等を強化、先進県への研修等)
- ③学力向上に係る研修(授業改善及び組織的な学校経営等、学力向上に効果的な取組等)
- ④学習到達度調査(**小学校4・5年生を対象に、国語・算数・理科のテストを実施**。児童の**学力定着状況を把握し指導方法を工夫・改善**)
- ⑤補充学習の充実強化(学校指導訪問等による各学校の取組状況把握と、効果的な手法の普及・徹底)

学力向上プログラム(中学校) 新規

中学校において、これまで年1回実施していた**学力調査を** 年2回実施に変更



- ●生徒個人の課題を把握し、 個に応じた復習教材・補充 学習を提供する
- ●学年・学級単位の傾向を 把握し、授業改善を図る

〈指導力向上に係る研修(中学校教員研修)〉

・当該年度の対象教科の授業を担当している中学校教員全員 を対象に**研修を実施**

【対象教科】

(R4) 国語→ (R5) 数学→ (R6) 英語

【年間研修予定】

全体 研修会



中核教員 研修会 (3回)



地方別 研修会

県立学校教育課 教育庁 [3681] 義務教育課 [3661]

令和 4 年度:5,840千円

(3.228千円)

- 宇宙教育の推進
- ●公立高校としては全国初となる、宇宙専門のコースを串本古座高校に新設
- ●宇宙について学びたい生徒を県内外から呼び込み、宇宙教育を通じて科学への興味・関心や学ぶ意欲を高め、 未来を切り拓く人材を育成

新規 宇宙探究コース新設

●スペースワン株式会社などの関係者の協力を得て、令和6年度、串本古座高校普通科内に「宇宙探究コース」を新設

R4 R7R5*R*6 *R*8∼

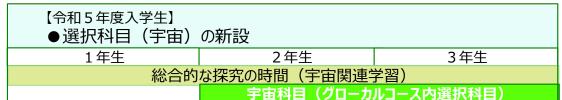
●部活動の充実、宇宙関連イベント等への生徒参加

【令和4年度入学生】

●宇宙関連学習の実施(総合的な探究の時間)

2年生 3年牛 1年生

総合的な探究の時間(宇宙関連学習)





【ロケットのイメージ ※スペースワン社提供】

○カリキュラム・広報戦略の検討

○受入環境の整備

【令和6年度入学生~】 ●宇宙探究コースの新設 1年生 2年生 3年牛 総合的な探究の時間(宇宙関連学習) 宇宙探究コース

県内小・中・高校生の科学力向上

打上げイベントや宇宙シンポジウムなどを通じて、科学や宇宙への興味・関心を高めるとともに、児童生徒の科学力を育成

飛躍を支える人と地域を創る

教育庁 県立学校教育課 [3681]

スタンフォード大学遠隔講座

令和 4 年度: 10, 404千円 新規

- ●世界で活躍する人材育成のため、国際人育成プロジェクトとして中学3年生全員への英語検定試験受験などを実施
- ●高等学校では、「県英語ディベート大会」や「アジア・オセアニア高校生フォーラム」など英語を使う機会を提供

『英語で学ぶ』新たな学びの機会の提供

海外大学への進学など、世界へ挑戦する生徒を育成するため、県内の高校生向けにカスタマイズした

オールイングリッシュのライブ授業「Stanford e-Wakayama」をスタンフォード大学※と共同で提供

【形 式】同時双方向型オンライン遠隔講座 (オールイングリッシュのライブ授業)

【対 象】県内高校に在籍する高校1~2年生30名

【場 所】自宅(インターネットが整備された環境)

【日 時】土曜の午前中(90分間)×全10回(9月~3月)

【テーマ】スタンフォード大学と協議の上、設定

- ・スタンフォード大学1年次の学生が受講する科目など
- ○全テーマ(10回)終了後、最終課題「英語によるプレゼンテーション」を設定
- ○受講式・修了式の開催

※<u>スタンフォード大学</u>

・1891年設立 アメリカ合衆国カリフォルニア州スタンフォードにある総合大学(私立)

【今後のスケジュール】

令和4年5月 協定締結

6月 受講生募集、選考

9月 受講開始(受講式)

令和5年3月 講座修了(修了式)



"子供の体力向上"とスポーツ振興

③ 飛躍を支える人と地域を創る

教育庁 義務教育課 [3661] スポーツ課 [3690]

令和 4 年度: 268, 409千円

(386,029千円)

現状·課題

- ●全国体力・運動能力調査において、小学校の体力低下が懸念
- ◆本県児童生徒の課題である「スピード」、「瞬発力」等の運動能力向上に向けた手立てが必要

子供の体力向上・運動能力向上

- 教科体育・教科外の体育的活動の充実により、体力・運動 能力の向上を強力に推進
- ① 令和 3 年度にリニューアルした「**きのくにチャレンジランキン グ |を全公立小学校で積極的な活用 拡充**
- ②全公立小・中学校において、「紀州っ子かがやきエクササイズ&ダンス |を積極的に活用
- ③教員指導力の向上のため、「【改訂版】運動部活動指導の手引」や「家庭における体力つくり等取組例」の活用

本県児童生徒の体力・運動能力の向上

競技者の発掘・育成・強化

<2.3億円>

- ①「ゴールデンキッズ発掘事業」などの取組による競技力向上
- ②部活動とともに、ジュニア・少年・成年の一貫指導体制を計画 的・戦略的に強化する取組を支援
- ③ 最新の研究に基づいた「スポーツ医・科学サポート事業」による アスリートの総合的支援

スポーツに親しむ環境づくり

- ① 気軽に参加できるリレーマラソンやマスターズスポーツ体験会を 開催
- ② 本県施設の優位性を活かした国内外チーム等のキャンプを誘致
- ③ プロスポーツ公式戦やアスリート派遣により、**トップレベルの** スポーツに触れる機会を創出



教育庁 総務課「3641]

令和 4 年度: 10,093千円 新規

わかやまスクールパワーアップ

現状・課題

- ●学校独自で主体的な活動を展開しようとしても、活動に要する予算の確保が困難
- ●よりよい社会づくりや地域づくりに向けて、地域と学校の連携を促進するための仕掛けが必要

学校の創意工夫ある取組支援

●各学校等における「児童生徒の主体的な取組」や「地域の実情に応じた学校の取組」など 創意工夫を凝らした取組をダイレクトに、タイムリーに支援

【対象】 県内公立小·中·高等学校 【補助額】 50万円(上限)

取組例

○防災

(AEDを正しく装着し、かつ傷病者のプライバシーを守るベスト状のシート製作など)

- ○ふるさと教育(外国人向け「熊野古道マップ」製作など)
- ○伝統芸能の継承 (保存会等から指導を受け、神社に奉納する獅子舞等の伝統継承)
- ○農業教育・商業教育 (県内農産物等を使った新しい商品の開発・販売など)
 - ・児童生徒の尖った資質・能力を発掘・伸長
 - •地域住民等の学校に対する関心度アップ





飛躍を支える人と地域を創る

環境生活部 自然環境室 [2690]

令和 4 年度:76,781千円 (79,999千円)

ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた取組

現状·課題

- 次世代を担う人材を育成するため、実践的な取組の強化が必要
- 気候や海洋環境の変動に関する取組の強化が必要



【南紀熊野ジオパーク】

新宮市、白浜町、上富田町、 すさみ町、那智勝浦町、太地町、 古座川町、北山村、串本町及び 奈良県十津川村の一部のエリア

研究・教育活動の強化

①南紀熊野ジオパーク探偵団 新規

自然や環境に関心のある中学生・高校生が、専門家の指導や助言を受け調査・研究など実践活動を実施

② 「海のジオサイト」構想 (海洋環境への取組) 新規 各アクセスコーナーの設置 * 南紀熊野ジオパークセンターに設置

南海トラフ掘削孔

- 地震波探査画像や掘削映像を展示
- 紀伊半島が海の付加体から連続していることを解説

枯木灘のサンゴ群集

・サンゴ群集の映像や成長記録から気候や 海洋環境の変動を解説

③研究助成

地質学、地球物理学などの分野で国際的に評価が期待される研究に対し経費を助成

4教育活動推進

大地の成り立ちや歴史文化等を分かりやすく説明できるテキストを県内全ての中学1年生に配布、授業等で活用

誘客・地域活性化の促進

- ・ジオパークによる地域活性化の促進 (ジオパークガイドによるジオツアー、座談会形式のジオカフェ、ジオパークを活用した商品開発など)
- 南紀熊野ジオパークセンターを拠点とした串本町内周遊バスや誘客の促進



南紀熊野ジオパーク探偵団 現地活動



付加体のジオサイト: フェニックス褶曲

自然環境等にやさしい工事推進体制の整備

環境生活部 自然環境室 [2779]

現状·課題

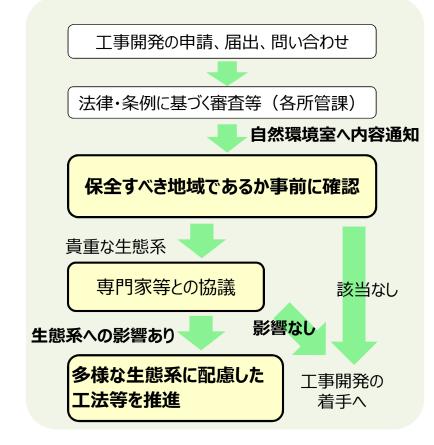
- 工事開発が周辺の自然環境などに与える影響の確認体制が必要
- 多様な生態系の保全に配慮した工法を推進する仕組みが整っていない

自然環境等への影響を確認する仕組みの構築 新規

- <u>各種法規制や貴重な生態系など保全すべき地域の情報を一元化</u>* (県地理情報システムを活用)
- 一元化した情報を活用し、保全すべき地域での工事開発であるか事前に確認 生態系への影響が考慮される場合は**多様な生態系に配慮した工法等を推進**
- 説明会の開催など官民の工事関係者へ仕組みを周知

* 一元化する情報

自然公園、自然環境保全地域、鳥獣特別保護地区、重要湿地、天然記念物、史跡名勝、埋蔵文化財包蔵地、世界遺産、保安林 など



和歌山博物館施設デジタル化計画

🔢 飛躍を支える人と地域を創る

教育庁 県立近代美術館 [073-436-8690] 県立博物館 [073-436-8670] 県立紀伊風土記の丘 [073-471-6123]

令和 4 年度: 15, 119千円 新規

現状·課題

- ●データベース整備の遅れ、コロナ禍における来館者数の減少、長期にわたる展示・公開ができない作品・資料・古墳等が多数
- ●保有する文化遺産の情報についてデジタル化を加速させることで、情報のバリアフリー化を推進することが必要

博物館施設のデジタル化推進

- ○県立近代美術館、県立博物館、県立紀伊風土記の丘の**県立博物館施設3館が有する文化遺産をデータベース化**
- ○構築したデータベースを高精細画像や3D により公開することで、各館のホームページ を充実
- ○紀伊風土記の丘では石室をVR化することで、展示を充実
- ○充実したデータを掲載したホームページの 閲覧を通じて、本県の文化遺産を国内外 へ発信
- ○その他県内博物館施設などへも拡充

事業スキーム

【データベース整備】

- ・各館で収蔵品等画像等 データ見直し
- •保有データ移行

(08) コレクションデータベース

【データベース公開ページ構築】

- 各館のホームページ改修
- ポータルサイト作成

(HP上で公開) ※高精細画像や3Dを用いた公開 ポータルサイト 各館 A館 A館 HP HP HP HP

事業スケジュール

令和4~6年度 ※一部、R8まで

「紀伊風土記の丘」・「自然博物館」新館建設

教育庁 県立紀伊風土記の丘 [073-471-6123] 県立自然博物館 [073-483-1777]

令和4年度:152,597千円

(13,478千円)

「県立紀伊風土記の丘」と「県立自然博物館」の新館建設計画を推進

- ●展示機能を効果的かつ魅力的にリニューアル
- ●収蔵庫を拡充することで、貴重で膨大な所蔵品を最適に保管

2館の新館建設	新規			
スケジュール				
	R4	R 5	<i>R</i> 6∼	
県立紀伊風土記の丘 (昭和46年建設)	基本設計	実施設計		R10年度の
県立自然博物館 (昭和56年建設) ※移転建替	基本計画	基本設計	実施設計	開館を目指す!

魅力的な景観まちづくりの推進

🚺 飛躍を支える人と地域を創る

県土整備部 建築住宅課[3184]

都市政策課 [3228]

企画部 地域政策課 [2371]

令和 4 年度: 17,870千円

(18,270千円)

現状·課題

- ◆人口減少等の要因により、空き家や廃墟が増加し、地域の魅力が低下
- ●建物や住家単位ではなく、地区や区域などエリア単位での魅力的な美しいまちづくりを検討

市町村

景観の保全や魅力的なまちづくりを推進する 重点エリアを設定 新規

合意形成

支援

県(振興局)

まちづくり推進WGを設置

新規

- ●廃屋等撤去が必要な物件のリストアップ
- ●除却跡地の利活用方針の検討
- ●支障状態を未然に防ぐ予防保全型景観まちづくりの検討

実行

①空き家対策の促進

- **中古住宅の流通** 空き家ビジネスの育成と普及
- **空き家適正管理**空き家所有者への適正管理に関する 啓発活動
- **管理不十分な空き家の除却** 特定空家等判断基準により市町村が 対策を推進
- 国指針変更を受けた判断基準の見直しによる対象の拡大 拡充
- 特定空家等調査員の養成 拡充

②未利用建築物の除却・跡地活用

未利用建築物

(対象要件)

- ・3年以上未利用状態の非住宅
- •延べ床及び敷地面積500㎡以上
- •文化財、ジオサイト、サイクリングルート沿い等
- •県空家等対策推進協議会で承認を受けた 建築物 拡充

除却

地域活性化のために10年以上利用

防災広場、交流施設など

③予防保全型の景観まちづくりの推進

新規

- 景観審議会において予防保全の 仕組みを検討
- 市町村と連携した景観保全体制 の構築
- 地域住民を中心とした合同景観 点検の実施

3

飛躍を支える人と地域を創る

県土整備部 道路局 [3116]

令和 4 年度:340.0億円

(311.3億円)

令和3年度12月補正:114.2億円

道路ネットワークの整備

企業立地や産業振興、活力ある地域づくりなど将来のチャンスを保障するものとして、 また、大規模災害への備えとして、高速道路や県内幹線道路等の早期整備を推進

1 地域をつなぐ道路網の整備

①万博を見据えた高速道路ネットワーク等の早期整備

- ▶すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路
- ▶印南IC~南紀田辺IC間の4車線化
- ▶国道42号冷水拡幅、有田海南道路 など

②県内外の一体的発展に寄与する幹線道路の整備推進

- ▶国道168号五條新宮道路(相賀高田工区、相須工区)
- ▶国道424号(切目辻工区)
- ▶すさみ古座線(周参見~添野川)など

③都市内道路及び基本的生活に不可欠な道路の整備推進

▶紀伊停車場田井ノ瀬線(南田井ノ瀬橋)、松島本渡線 など



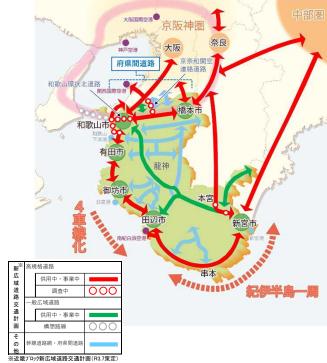
和歌山環状比道路、京奈和関空連絡道路



新空紀宇道路 (海絲瓣川河口+棒)



すさみ古座線(仮称い河内1号トンネル)



2 災害に備えた道路網の強靱化

①緊急輸送道路等の通行確保

▶地震・風水害等の災害時に備えた橋梁耐震化や法面強化

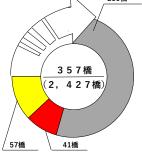
②橋梁等の老朽化対策

▶定期点検に基づく機能維持のための老朽化対策

【橋梁の老朽化対策】

上段:要修繕数 下段:県管理総数







橋梁耐震化 落橋防止の設置



老朽化対策 ンクリートの剥離(橋脚)の補修